

執筆要項

1. 原稿の分量

投稿原稿の分量は次のとおりとする(表題・図版・写真・注・文献リスト含む)。

- (1) 論文:12,000～20,000字
- (2) 報告:12,000字以内
- (3) エッセイ:特に定めない

2. 投稿の形式

論文および報告の投稿に際しては原稿のほか、投稿申込用紙に要約(論文:700字程度、報告:400字程度)と3～5語のキーワード、その他必要事項を記載し、添付する。エッセイの投稿に際しては原稿のほか、投稿申込フォームに必要事項を記載する。

3. 書式

- (1) 論文および報告の投稿原稿はすべて横書きとし、使用言語は、日本語とする。
- (2) A4版の用紙にMicrosoft wordなどのアプリケーションを用いて、見やすく印字し、ページ番号を付したものを送付する。
- (3) 文体は"である"調とし、原則として当用漢字、新仮名遣いを用いる。
- (4) 数字はアラビア数字を用い、数字および英字は半角とする。ただし、1ケタの場合は全角とする。
- (5) 「、」「。」「()」などの記号類は原則として全角とし、「(1)」のような場合のみ半角とする。
- (6) 句読点は「,」「.」ではなく、「、」「。」とする。
- (7) 原則として西暦を用い、年号を使用する場合には「1985(昭和60)年」のように記す。
- (8) 原稿は、表題・本文・注・文献リストの順序で構成する。

4. 図版

論文および報告に関して図版を使用する場合は、掲載を希望する位置にそのまま貼り付けたものを提出する。原則として、1枚につき200字相当とする。

5. 注・文献引用

- (1) 注を用いる場合、該当箇所を上付き文字で1)、2)と通し番号を付し、本文の最後にまとめて記載する。
- (2) 典拠した文献を示す注は、本文中の適切な箇所に[著者の姓 発行年]を記載する。
- (3) 文献からの引用を行った場合には、[著者の姓 発行年:引用ページ]とする。
- (4) 文献は以下の形式で文献リストを作成する。
 - ・配列順序:著者のアルファベット順とする。
 - ・単行本の場合:著者名(姓・名の順), 発行年, 『書名』発行所名.
 - ・翻訳本の場合:原書の著者名,発行年,書名,発行所名.(=訳者名,発行年,『邦訳名』,発行所名)
 - ・雑誌の場合:著者名(姓・名の順),発行年,「論文表題」『掲載雑誌名』巻号, 発行所名 (出版社がある場合) .
 - ・外国語(欧文の場合)は、論文表題は、‘ ’で括り、欧文雑誌名・書名はイタリック書体とし、上の雑誌と同じ項目を記載する。
 - ・文献の本題と副題は「:」で区切る。

6. 事例およびデータの取り扱い

- (1) インタビューやその他フィールド調査から得た記述の場合、本文中で言及するか当該箇所に注を付してその旨(インタビューの実施年月日や場所、情報提供者の名前等)を表記する。
- (2) 論稿の発表に先立ち調査協力者・情報提供者にはかならず了解を得るものとし、プライバシーの保護についてもあらかじめ相談・協議のうえで氏名・機関名の匿名化を行うなど配慮する。

7. 写真・絵画・作品等の取扱い

- (1) 写真・絵画等を転載する場合、版元より転載に関する承諾を得るものとし、引用文献を末尾に明示する。
- (2) 絵画・作品等を掲載する場合、作者あるいはクライアントより作品の掲載について承諾を得るものとし、その旨を本文中に記述する。後者の場合、プライバシーの保護についてもあらかじめ相談・協議のうえで氏名・機関名の匿名化を行うなど配慮する。
- (3) 写真家によって撮影された絵画写真・作品写真等を掲載する場合、写真家に承諾を得るものとし、写真家の氏名も併せて掲載する。
- (4) 臨床現場・実践現場で撮影された写真・動画等を掲載する場合、当該機関および写真の被写体より、写真の撮影や掲載について承諾を得るものとし、その旨を本文中に記述する。プライバシーの保護についてもあらかじめ相談・協議のうえで機関名・氏名の匿名化を行うなど配慮する。

8. その他

不明な点や、上記の執筆要項によることのできない事情のある方は、本会事務局にご相談ください。英文で投稿を希望される場合にも、ご相談ください。